

小山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	建築設計ⅡB	
科目基礎情報						
科目番号	0067	科目区分	専門 / 必履修			
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	建築学科	対象学年	4			
開設期	後期	週時間数	後期:4			
教科書/教材						
担当教員	安高 尚毅,加藤 浩司					
到達目標						
自らの設計の計画手法を理解説明出来る。 創造性ある建築を設計し、プレゼン出来る。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	創造性ある建築を設計し、プレゼン出来る	創造性ある建築を設計し、プレゼンが不十分	創造性ある建築を設計し、プレゼン出来ない			
評価項目2	自らの設計の計画手法を理解説明出来る	自らの設計の計画手法の理解説明が不十分	自らの設計の計画手法を理解説明出来ない			
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 ② JABEE (B)						
教育方法等						
概要	この科目では企業で建築物の意匠設計を担当していた教員が、その経験の活かし、建築計画学に基づいたエスキスの考え方を通して設計演習を学びます。 さらには建築計画学の限界を認識することによって、建築計画学を超えた新たな建築の設計方法を模索します。 このプロセスにおいて商業施設および公共施設の設計の計画手法を理解説明出来ることを目指します。 さらに創造性ある建築を設計し、プレゼン出来る能力を養います。					
授業の進め方・方法	毎回のエスキスチェックによる					
注意点	事前学習としてエスキスをする事。 事後学習としてエスキスの手直しをすること。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
	週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	課題1「事務所建築」の解説		全体コンセプト	
		2週	課題1「事務所建築」のエスキス1		エスキス図・エスキス模型	
		3週	課題1「事務所建築」のエスキス2		エスキス図・エスキス模型	
		4週	課題1「事務所建築」のエスキス3		エスキス図・エスキス模型	
		5週	課題1「事務所建築」のエスキス4		エスキス図・エスキス模型	
		6週	課題1「事務所建築」の製図1		平面・断面・立面図の作成	
		7週	課題1「事務所建築」の製図2		平面・断面・立面図の作成	
		8週	課題1「事務所建築」の講評会		創造性ある建築を設計し、プレゼンできる	
	4thQ	9週	課題2「メディアセンター」の解説		全体コンセプト	
		10週	課題2「メディアセンター」のエスキス1		エスキス図・エスキス模型	
		11週	課題2「メディアセンター」のエスキス2		エスキス図・エスキス模型	
		12週	課題2「メディアセンター」のエスキス3		エスキス図・エスキス模型	
		13週	課題2「メディアセンター」のエスキス4		エスキス図・エスキス模型	
		14週	課題2「メディアセンター」の製図1		平面・断面・立面図の作成	
		15週	課題2「メディアセンター」の製図2		平面・断面・立面図の作成	
		16週	課題2「メディアセンター」の講評会		創造性ある建築を設計し、プレゼンできる	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。	4	
				教育や福祉系の施設(例えば、小学校、保育所、幼稚園、中・高・大学など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	4	
				文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	4	
				建築計画・設計の手法一般について説明できる。	4	
		設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	4		
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	4	
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	4	
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	4	
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	4	
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	4	
立体的な発想とその表現(例えば、正投影、単面投影、透視投影などを用い)ができる。	4					

			ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	4	
			各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	4	
			与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	4	
			与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	4	
			与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	4	
			設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	4	
			講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	70	0	30	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	70	0	30	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0